

委員意見集約表 案

I. 補助事業の内容全般における意見		
No	補助金名称	課題と意見
4	佐倉交通安全協会佐倉市支部長連絡協議会補助金	運営費補助の別記2に該当するか検討を要する
5	佐倉市交通安全母の会事業補助金	運営費補助の別記2に該当するか検討を要する
10	佐倉市自主防災組織活動助成金	設立補助を受けた団体の次年度以降の活動実態が明確でない。大規模災害発生時の初期対応は居住地近隣の自主防災組織に頼らざるを得ないことが判ってきているため、組織化、活性化が急務と考えられる。実効性のある補助金とする良い機会とし、補助金制度の改善が必要。また、対象事業費、補助率1/2については明確化すべき。
18	佐倉市地域まちづくり協議会事業交付金	申請のハードルが高く伸び悩んでいる状況であるため、市民側への啓蒙、市の指導育成が必要。今後の市民活動の取り組む方向であるため、継続すべき。
19	佐倉市民憲章推進協議会交付金	市が依頼する事業であり、妥当と考えられるが、市民憲章推進をうたっている中で、条例は存在しない。市民から見て活動が低調であり、活動の活発化を求める。
20	市民提案型協働事業助成金	活動実績が低調だが、今後は伸ばすべき事業である。さらに積極的に働きかけて育成するか、市民側の意欲等の向上を長期的に醸成するかの岐路にあると考える。
21	佐倉市共聴施設整備事業費補助金	本事業に対する国庫補助金の全額を充当することで完結しているため、役目を終えた補助金と判断し、廃止するものである。
26	佐倉市鉄道駅バリアフリー化整備事業補助金	県からの補助金はなくなっても、市の補助は縮小しての継続を検討するなど、事業者と連携し、利用頻度・必要性に見合ったバリアフリー化を整備してゆくことが望まれる。
43	佐倉市民間保育園運営費等交付金	公立と同等の保育環境が民間においても求められているため、公立民間の保育環境の格差が生じないよう、拡充を検討すべき。
44	認可外保育施設運営費等補助金	待機児童の預け先としての市民ニーズがあるため、保育園入園要件に合致しない児童の受け入れ先として拡充を検討すべき。
52	佐倉市生ごみ減量化促進事業補助金	生ゴミ減量化促進の方策として、継続維持が望ましいが、この事業にどれだけの効果が期待されるか、生ゴミ削減のための他の方策を含めた検討が必要と考える。
55	佐倉市農業経営基盤強化資金利子補給事業補助金	補助金の交付先は申請した個人とするべきではないか、申請手続きが煩雑で農業者に負担であるとすれば、金融機関が申請代行する方法等を検討されたい。

★

委員意見集約表 案

I. 補助事業の内容全般における意見		
No	補助金名称	課題と意見
56	農業近代化資金利子補給金	佐倉市農業経営基盤強化資金利子補給事業補助金と補助金率は異なるが、両制度の目的の違いが不明瞭である。目標値の人数は達成しているが成果額は計画に対し少ない。佐倉市農業経営基盤強化資金利子補給事業補助金と一本化するなど、整理統合をも検討されたい。
69	佐倉市商店街街路灯等維持管理費補助金	事業目的、補助金額、年度成果は妥当であると考えられるが、照明コストの削減を目標とした設備更新を促進させるよう、新たな補助金の設置の検討も必要。
74	街中にぎわい推進事業補助金	補助金の交付団体が特定の団体に限られており、他の地区との均衡が疑問である。町の活性を上げ、人口の増加を図るため、拡大の方向についても、検討が必要である。
83	街灯管理費補助金	市民生活の安心安全確保のため、コストダウンを図りながら維持されたい。
84	街灯設置費補助金	市民生活の安心安全確保のため、コストダウンを図りながら継続されたい。
85	街灯修繕費補助金	照明コストの削減を対象とした設備更新を促進させるような、補助金枠の拡大をも検討されたい。
87	佐倉市木造住宅補強改造工事補助金	東日本大震災以降、増加が見込まれ、枠の拡大についても検討が必要。
89	佐倉市危険コンクリートブロック塀等の除去及び緑化推進補助金	東日本大震災以降、増加が見込まれ、枠の拡大検討が必要と考えられる。
94	雨水貯留浸透施設設置工事補助金	環境保全推進の意味から補助金の継続は理解できるが、政策の要点に沿って浸透施設推奨地域マップのような啓発、誘導の施策が必要と考えられる。
104	佐倉市私立幼稚園就園奨励費補助金	対象とする保護者の経済状況を十分に審査の上、実施されたい。
107	佐倉日蘭協会助成補助金	毎年、イベントをするだけでなく、イベントを通じて構築された人脈や知見を活用して、経済や観光面への効果を創出するよう、市側が強く誘導し、メリハリのある事業創出を図るべき。本事業は毎年目的と意義を見直すとともに、内容も改善を図ることとし、恒常化することは避けるべき。

★★

委員意見集約表 案

I. 補助事業の内容全般における意見		
No	補助金名称	課題と意見
108	文化財保存事業補助金	小中学校の授業との連携により、地域の伝統文化の教育にも活用することを望む。
111	佐倉朝日健康マラソン大会事業補助金	市との連携事業であり妥当と考えられるので、観光面、産業面においてもマラソン大会との相乗効果を創出するための工夫を市としても積極的に講じていくべき。
112	佐倉市運動広場管理運営事業補助金	稼働率、利用状況を十分に勘察し、施設の老朽化、余剰に対してのモニタリングと連携を図った運用をすべき。

委員意見集約表 案

Ⅱ. 補助事業の分類における意見			
No	補助金名称	課題と意見	
1	議員厚生事業助成金	補助金分類が交付金となっている。補助対象事業が、議員間の親睦と教養の向上となっているが、議員の福利厚生に限定し実施するなど、補助金分類の見直しを含め、内容を再検討すべき。	
2	政務調査費	交付金に該当するのか、見直しが必要。また、補助金の概念に含まれるものか、補助金の性格の明確化が必要。一般市民に対する補助金とは別の制度の下で実施することが望ましい。	
3	佐倉市役所職員共済会補助金	職員共済会が地方公務員法を根拠とする福利厚生・元気回復事業の実施主体とし、市が委託する事業とし、交付基準（分類）を見直すことも検討すべき。補助率が1/2以上である、食堂事業等と他の事業の経費を明確に示すべき。市職員の福利厚生事業として活発に発展させる視点が必要である。	
16	佐倉市自治会・町内会等連合協議会交付金	地域住民の自治活動支援事業であり、市民自治の推進、市民協働事業の推進母体として必要な活動と認識できるが、市の依頼の活動実態となっているか疑問であり、活動実態として交付金に該当するのか、見直しが必要。佐倉市自治会等自治振興交付金に整理・統合するべきではないかと考える。	★★
17	佐倉市自治会等自治振興交付金	地域住民の自治活動支援事業であり、妥当と考えられるが、「自治会等が自主的に行う、加入者の連帯意識を醸成する事業、地域社会を活性化する事業、その他住民自治の振興を目的とする事業」が対象なら交付金にならないのでは。内容・規則の見直しが必要であり、縮小も含めて検討すべき。	★
31	佐倉市知的障害者生活ホーム運営事業補助金	分類区分は、他補助金の分類との整合性から、「市との連携により実施する事業への財政支援」分類2とするか検討を要する。	
37	佐倉市高齢者クラブ補助金	交付基準別記1・2の取り扱いとならないような、分かり易い補助基準分類が必要である。	
38	佐倉市シルバー人材センター補助金（運営費）	事業の活性化が望まれる。交付基準別記1・2の取り扱いとならないような、分かり易い補助基準分類が必要である。	
39	佐倉市シルバー人材センター補助金（事業費）	運営費補助と事業費補助とを明確に仕分け、個別に管理することが望ましい。	
60	佐倉市農業環境対策事業補助金	①廃プラスチックの処理と②機械・設備等の購入及び道路状診断は性格が異なっているように考えられる。県付き補助金の対象である別表第2の事業以外は市の単独補助金であるが、別表第1の環境にやさしい農業推進対策事業と、災害処理事業は性格が異なり、分類を変えて実施すべき。災害処理事業は、分類5として実施すべきであり、このことにより交付基準別記1として例外的に認める必要が無くなると考えられる。	

委員意見集約表 案

Ⅱ. 補助事業の分類における意見		
No	補助金名称	課題と意見
65	佐倉市畜産総合対策事業補助金	国県の事業と市単独の事業が併記されているが、双方の事業は性格が異なり、ひとつの補助金としてまとめているのは不 適当ではないか。内容の継続は妥当と考えられるが、補助金申請者は異なっていると考えられるので、別の補助金として 再編することを検討されたい。
77	佐倉・時代まつり事業交付金	分類1の交付金であれば所要額の全部を補助するところであるが、本事業は、祭りの実行委員会との共催であり、「市と の連携により実施する事業への財政支援」分類2となるのではないかと検討すべき。

委員意見集約表 案

Ⅲ. 補助金額における意見		
No	補助金名称	課題と意見
7	佐倉市公共交通移動円滑化設備整備費補助金	高齢化社会・幼児連れの女性への対応として、必要な対策であるが事業者の負担が大きい面もある。市の方針を実行する上で、増額を図ることも検討すべき。
8	佐倉市生活交通路線維持費補助金	事業者と連携を強め、維持・改善を図るものとして、効果的補助のあり方を検討して、より良き補助となるように検討する前提で増額も視野に入れるべき。
22	佐倉市民生委員児童委員協議会交付金	委員1人4000円を上限としているのは業務から見て少ないのではないかと思える。他の市町村との比較で妥当かどうか、増額の必要性をも含めて検証すべき。
103	佐倉市私立幼稚園振興事業補助金	過剰な補助金支出とならないよう、十分に審査の上、実施されたい。

委員意見集約表 案

IV. 目標と成果・実績における意見			
No	補助金名称	課題と意見	
3	佐倉市役所職員共済会補助金	目標に対する実績が低調である。H23年度の目標達成の具体案が見えない。食堂の一般市民利用実績は把握できていないのでは。目標の設定を再検討すべき。	
29	佐倉市民間心身障害者施設運営費補助金	計画額・目標値に対し決算額・成果値が少ない。施設の人員ネックで利用者が少ないのか、潜在利用者数が少ないか等、原因を明確にして、適切な方策を採るべき。利用者数にあわせた、計画縮小をも検討する必要がある。	★
39	佐倉市シルバー人材センター補助金（事業費）	事業費補助額の割合は少ないと見られるが、成果値が明らかにされていないため、明確化すべき。	
51	佐倉市地下水汚染に係る浄水器設置費補助金	22年度実績は0件であるため、制度の必要性を再検証し、段階的縮小あるいは廃止を含めて検討すべき。	★★
54	佐倉市合併処理浄化槽維持管理費補助金	年度ごとの目標値に対し成果値が少なすぎるが、PDCAが出来ているのか疑問のため、再検証すべき。	
55	佐倉市農業経営基盤強化資金利子補給事業補助金	年度ごとの目標値を毎年13人の農業者としている根拠が不明であり、理解しがたいため、明確にした上で、必要に応じた見直しを図るべき。	
62	佐倉市農業体験農園事業補助金	計画上の3箇所27万円の支出ということは、1箇所9万円の零細補助金であり、存続の再検討が必要である。市民体験農園の利用状況はどうか。成果なしが続いており、当該補助事業制度にはニーズがないものと判断されるため、廃止を含めて検討すべき。	★★
81	佐倉市障害者雇用促進奨励金	実績が無く、補助金の支給制度が、雇用促進に繋がっていない。現状に合わせた対応（年次PDCA）もなされておらず、待ちの状態のみを継続しているのではないかと。雇用機会減少の現状を踏まえ、制度改善が必要である。	
95	佐倉市土地区画整理事業助成金	予算・実績なしが続き、23年度も予算なしとなっている。条例に基づき補助金枠を継続しておくことが必要か。土地区画整理事業の見通しにより制度のあり方は変わるが、計画額0で現状維持されるものか、検討されたい。	
98	高等学校等奨学金	年度ごとの目標値と成果値（実績値）に乖離があり、生徒数の減少にあわせ、計画額を削減し実態に合わせることは出来ないか検討されたい。	★
102	私立幼稚園災害共済給付加入補助金	加入率が目標値の10/10を達成していないため、その原因分析と達成のための方策が望まれる。	
105	佐倉市成人教育活動助成補助金	児童生徒の健全育成のための研究等に補助との、市との連携事業であるが、目標値はパトロールのみであり、事業の実態が見えない。事業実態に合わせた運用管理を行うことが継続の要件と考えられる。	

委員意見集約表 案

V. 情報提示における意見		
No	補助金名称	課題と意見
4	佐倉交通安全協会佐倉市支部長連絡協議会補助金	活動内容を見ている市民もいるが、実際に活動している会員数はどのくらいなのかなど、活動の実態が見えてこない部分があるので、活動内容の可視化が望まれる。
5	佐倉市交通安全母の会事業補助金	活動は少ない補助金で献身的に行われているが、活動内容の可視化が望まれる。
22	佐倉市民生委員児童委員協議会交付金	市が依頼する事業であり、県付き補助の要件となっているため、妥当と考えるが、「自立支援に関する研修会（年1回実施）」および「職務に関する連絡調整会議（月1回）」への参加率など、客観的効果を報告書に記載するよう要望する。
27	佐倉市社会福祉施設整備事業借入金元金補助金	補助対象団体数のみではなく、補助対象人数（佐倉市民）、実際の活動内容等を報告書に記載することを要望する。
28	佐倉市社会福祉施設整備事業資金利子補給補助金	補助対象団体数のみではなく、補助対象人数（佐倉市民）を報告書に記載することを要望する。実際の活動内容を要望書に記載することを要望する。
30	佐倉市障害者グループホーム運営費等補助金	市との連携事業であり、妥当と考えるが、より具体的な成果数値等、客観的効果を報告書に記載することを要望する。
32	佐倉市通所サービス利用促進事業補助金	県付き補助金の要件として、市の裁量の余地がないが、業者あたり300万円上限があるものの、利用者1人あたりの年間補助金額は143千円と高額であり、算出根拠は明確にすべき。
33	佐倉市民間心身障害者施設整備事業補助金	佐倉市民への効果に対するより明確な説明のため、補助対象人数のうち、佐倉市民数を報告書に記載することを要望する。
34	本人活動支援事業補助金	障害者が地域で生活し、活動の場を広げられるよう、地域が支援することが求められている。補助対象団体数のみではなく、補助対象人数（佐倉市民）、実際の活動内容等を報告書に記載することを要望する。
35	佐倉市社会福祉施設整備事業借入金元金補助金	佐倉市民への効果に対するより明確な説明のため、補助対象施設数のみではなく、補助対象人数（佐倉市民）を報告書に記載することを要望する。
36	佐倉市社会福祉施設整備事業資金利子補給補助金	佐倉市民への効果に対するより明確な説明のため、補助対象施設数のみではなく、補助対象人数（佐倉市民）を報告書に記載することを要望する。
38	佐倉市シルバー人材センター補助金（運営費）	運営費補助額の透明化が必要であるため、情報提示における透明性の確保に努めるべき。

委員意見集約表 案

V. 情報提示における意見		
No	補助金名称	課題と意見
51	佐倉市地下水汚染に係る浄水器設置費補助金	成果報告書「年度ごとの成果値」記載が、H21年度66、H22年度0となっているが根拠・原因等が不明確であり、実効性が低いいため、課題をどのように解消していくかを検討し、報告書に記載することを要望する。
52	佐倉市生ごみ減量化促進事業補助金	生ごみ排出量の減量率が効果ありと言えるのか不明確である。課題をどのように解消していくかを検討し、報告書に記載することを要望する。
53	佐倉市合併処理浄化槽設置事業補助金	市全体での達成効果を明確にするため、補助対象者に対する達成度を報告書に記載することを希望する。
54	佐倉市合併処理浄化槽維持管理費補助金	目標値と成果値との乖離があるため、課題をどのように解消していくかを検討し、報告書に記載することを要望する。
55	佐倉市農業経営基盤強化資金利子補給事業補助金	利子補給事業が多数あるため、なんらかの一覧性を持たせる必要がある。また、農業者の経営状況との関係も明らかにする必要がある。農業への補助自体は必要であろうが、全体像が見えにくいいため、情報提示を検討されたい。
56	農業近代化資金利子補給金	利子補給事業が多数あるため、なんらかの一覧性を持たせる必要がある。また、農業者の経営状況との関係も明らかにする必要がある。農業への補助自体は必要であろうが、全体像が見えにくいいため、情報提示を検討されたい。
59	佐倉市水田農業構造改革事業補助金	農業補助金が多数あるため、なんらかの一覧性を持たせる必要がある。市単独補助金額が大きく、要綱別表1、2の項目に沿った内訳の説明が必要である。個人で最高750千円の補助を受けているが、その場合も1/2の補助率なのか、農業者に対する補助金は大きく、補助金内容を可視化し、他事業との公平性が理解されることが必要である。また、農業者の経営状況との関係も明らかにする必要がある。農業への補助自体は必要であろうが、全体像が見えにくいいため、情報提示を検討されたい。
60	佐倉市農業環境対策事業補助金	①廃プラスチックの処理と②機械・設備等の購入及び道路状診断は性格が異なっているように感じられる。農業への補助自体は必要であろうが、全体像が見えにくいいため、情報提示を検討されたい。
61	佐倉市農産園芸総合対策事業補助金	個人に対して、44,000円から275万円までの範囲にわたっており、公平な配分がされているかどうかの説明が必要である。農業への補助自体は必要であろうが、全体像が見えにくいいため、情報提示を検討されたい。
62	佐倉市農業体験農園事業補助金	市民体験農園の利用状況はどうかなどの説明を含めて、農業への補助自体は必要であろうが、全体像が見えにくいいため、情報提示を検討されたい。
63	佐倉市耕作放棄地対策事業補助金	計画書・成果報告書等の説明が不十分なので改善を望む。農業への補助自体は必要であろうが、全体像が見えにくいいため、情報提示を検討されたい。

委員意見集約表 案

V. 情報提示における意見		
No	補助金名称	課題と意見
64	佐倉市畜産振興事業補助金	畜産農家本来の事業であり、補助する理由を明確にする必要がある。農業への補助自体は必要であろうが、全体像が見えにくいいため、情報提示を検討されたい。
65	佐倉市畜産総合対策事業補助金	畜産農家本来の事業であり、補助する理由を明確にする必要がある。農業への補助自体は必要であろうが、全体像が見えにくいいため、情報提示を検討されたい。
66	北総中央用水土地改良区運営補助金	県付き補助であり、かつ広域連携の問題であるため、市単独では変更できないものであろうが、金額の根拠が不明である。農業への補助自体は必要であろうが、全体像が見えにくいいため、情報提示を検討されたい。
67	佐倉市林業振興事業補助金	林業者の本来の仕事であり、補助する理由、必要性の明確化を望む。農業への補助自体は必要であろうが、全体像が見えにくいいため、情報提示を検討されたい。
96	佐倉市消防団連絡協議会交付金	年度の事業目標値から見て本事業の主目的は団員数の確保にあると考えられる。会議費は具体的に何に支出しているのかなど、用途の具体性が見えにくいいため、必要性は推測できるので、事業内容を明確にし、「佐倉市消防団連絡協議会が行う事業に要する費用」について具体的な記述を加筆するなど、市民が納得できる形にすべき。
99	佐倉市学校運営費等交付金	交付額の85%はみどりの少年団育成協議会であるが、用途の具体性が見えにくい。支援内容を具体的に報告（特に緑化推進の内容が分かりにくい。）すべき。市からの依頼事業との位置づけであるかぎり、活動内容と補助金の用途はしっかりと報告されるべき。
101	佐倉市特別支援教育就学奨励費補助金	国補助金支給の要件であり、妥当と考えられるが、年度ごとの目標値と成果値（実績値）に乖離がある。乖離の理由について明確にし、報告書において記載すべき。
107	佐倉日蘭協会助成補助金	交流促進事業への参加者数だけが成果として報告されているが、参加者数の確保だけが事業目標ではないはず。補助金分類2「市との連携により実施する事業への財政支援」であるため、活動内容、成果の詳細の報告が必要である。